

平成 26 年 2 月 7 日

ニュースリリース

## こども教育学部 こども教育学科 新設 大学院 看護学研究科 看護学専攻 新設

～平成 27 年 4 月 設置計画中～

京都光華女子大学（学長：一郷正道）では、平成 27 年 4 月の「こども教育学部こども教育学科（仮称）」、および、「看護学研究科看護学専攻[修士課程]（仮称）」の設置を目指し、文部科学省への設置認可申請の準備をすすめております。

### ■こども教育学部 こども教育学科（入学定員 80 名予定）

近年、認定こども園や小中高一貫など学校間や学校と保育園間の連携の活発化や小学校での英語の必修化など、教育業界における改革が進む中、今後は、これらに対応できる保育者・教育者の養成が急務となっています。本学は、平成 18 年の短期大学部こども保育学科開設以来、保育を实践する力とおもいやりの心を兼ね備えた保育者を養成し送り出してきましたが、そのノウハウをさらに、社会のニーズに即した形で還元するため、4 年制への移行を検討してまいりました。

そしてこの度、本学短期大学部こども保育学科を発展的に改組し、仏教精神をしっかりと理解し、おもいやりの心をもって生徒・児童・園児や保護者に寄り添いながら教育活動を行える教育・保育の専門職を養成していくことを目的としています。（短期大学部こども保育学科は 2015 年度入学生より募集停止となります。）

本学科は 2 コース制で、「学校教育コース」は、小学校教諭 1 種および幼稚園教諭 1 種の取得を目指し、希望により、さらに中学校教諭 1 種（英語）、高等学校教諭 1 種（英語）または保育士の取得が可能となり、「幼児教育コース」は、幼稚園教諭 1 種および保育士の取得を目指し、希望により、さらに小学校教諭 1 種の取得が可能となるよう計画しております。また、本学は、幼稚園から大学院までを有する総合学園「光華女子学園」の敷地内に立地することから、普段から併設校園との協力連携を密に行っており、そのため、この度の新学科設置にあたり、学生の早期からの教育・保育現場体験が可能となります。

さらに、保育者・教育者の素養として最も重要と言えるのが、本学の建学の精神「仏教精神に基づく女子教育」で育む「おもいやりの心」です。命の大切さをしっかりと理解するため、仏教精神を学ぶ科目を設置し、宗教関連行事や課外講座への参加を奨励します。また、保育者・教育者、社会人として必須であるコミュニケーション能力を身につけるため、各科目で能力向上を意識した展開で授業を進めていきます。

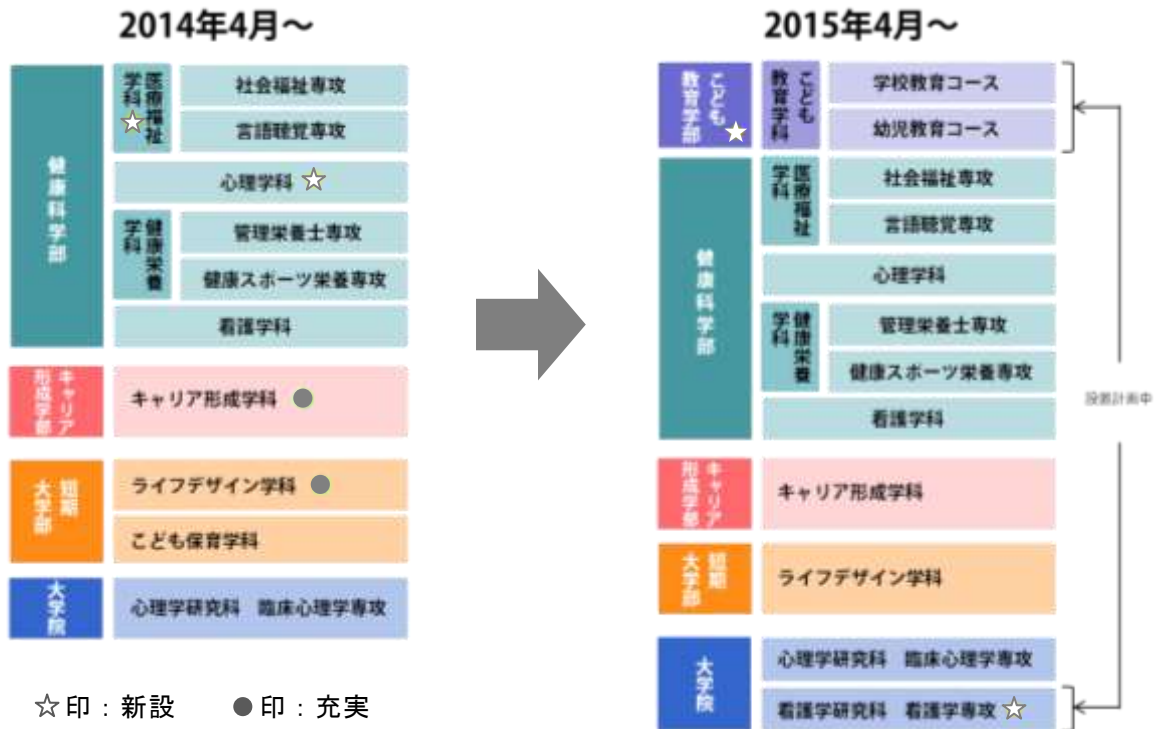
■看護学研究科 看護学専攻[修士課程] (入学定員 5名予定)

本学の教育理念は、仏教精神に基づく慈悲の心、おもいやりの心を持ち、習得した学術分野の知識や技術を、社会で活かすことのできる智慧を持った人材の育成にあり、本研究科においてもその精神を継承し、援助の対象である人間の理解と援助者としての在り方を深く洞察し、実践化できる優れた看護師、教育・研究者の育成を目指します。

近年、グローバルで多様に変化、発展していく社会システムと科学技術を背景に、生活や健康に関する人々のニーズも複雑、多様化しています。中でも健康で充実した生活やそれを支える保健・医療・福祉サービスへの期待やニーズは、一地域にとどまらず、広範な規模で高まりを示しています。少子高齢化が加速する現在、そうしたニーズやさまざまな健康問題に適切に対応できる看護職の役割と責任、活動は、一層重要になり、問題への対処、解決能力を有する有能な看護職の育成は喫緊の課題となっています。

本研究科では、看護実践の研究的検証を通して、実践科学である看護学のさらなる発展に寄与できる優れた看護師、教育、研究者の育成、さらには、療養の場において展開される看護実践の検証実践の理論的構築、理論と実践の統合化、経験知、臨床知の具現化の試み、有益な援助方法の開発などを通して、学際的視点から研究的、創造的に看護の探究、開発に参加できる人材の育成を目指します。

■学部学科再編の概要について



**本件に関するお問い合わせ**

京都光華女子大学 入試広報部 担当：石原・永野  
 [TEL] 075-325-5221 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] [hkk@mail.koka.ac.jp](mailto:hkk@mail.koka.ac.jp)

京都光華女子大学ホームページ【<http://www.koka.ac.jp/>】  
 各校園ごとのニュースやイベントなどの情報を随時更新しています。取材用資料としては是非ご活用ください。

学校法人光華女子学園（理事長：阿部 敏行）では、「真実心」を校訓として、徳育教育に力を注いでおります。今後ともさらに地域の皆さま方に愛される美しい心を持つ人間の育成に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。